

7/29（月） 中野総合学科新校現地説明会における質問・回答

No	質疑	回答
1	プールは現在使用しているか。	授業、部活動で使用しています。
2	仮にプールを除却した場合、授業はどうする予定か。	プール除却後の対応は現時点で未定です。水泳の授業のありかた、外部施設の活用等を検討していく想定です。
3	校地内に駐車中の車は教職員の車か。	基本的に教職員の車です。 教職員は校地内の空いているスペースに車を停めているのが実態です。
4	校地外に駐車場はあるか。また、新校において、外部の駐車場を利用する想定はあるか。	校地外に駐車場はありません。行事等で多数の車が集まる際は、市民会館や市役所等の駐車場を借用しています。 新校においても同様の対応を予定しています。
5	現在、駐車場は足りているか。	現在の状況においては、駐車場が不足しているという認識はありません。
6	職員の人数と車の台数を教えてほしい。	現在、中野立志館高校は全日制1学年5学級、定時制1学年1学級で、教職員は非常勤を含め全日制82名、定時制11名です。 ほとんどの教職員が車通勤であるため、車の台数は、上記と同様の規模の台数になります。
7	雪の量はどのくらいか。融雪設備はあるか。	積雪量は多い時で40~50cm程度です。 中野立志館高校に融雪設備はなく、積雪量が一定値を超えた場合に外部委託による除雪を行っています。
8	中庭の植栽の管理は誰が行っているのか。またその頻度はどれくらいか。	校用技師が日常的な管理を行い、生徒も管理活動を行っています。また、状況に応じて外部委託により整備しています。
9	土日、夏休みはクラブ活動以外に学校を使うことはあるか。	現在、中野立志館高校の施設等の一般開放は行っておりません。
10	東側の駐輪場の使用者は誰か。	部活動等のため、学校に許可を受けた生徒が使用しています。
11	雨水処理の現状について教えてほしい。また、新校についての考え方はあるか。	現在は、一部敷地内に浸透させています。 新校においては、今後の検討事項となります。
12	部室棟から大体育館に続く渡り廊下が図面に記載されていないが、その取扱いはどうなるか。	他の渡り廊下と同様、「③原則活用（用途変更を含む）だが、除却することも可」です。
13	給食室は昼間使用しているのか。	現在、給食室は定時制の生徒が夕食を食べるスペースとして利用しており、昼間の使用はありません。
14	H R 教室は暖房・冷房ともにエアコンを活用しているのか。	そのとおりです。

15	空調設備としてエアコンはどの程度設置する想定か。	現在、普通教室、パソコン教室、管理諸室、図書館、大講義室等はエアコンが設置されています。新校において設置基準はありませんが、新築校舎には設置していただくようお願いします。
16	全ての教職員、生徒はどこから校舎に出入りしているか。また、新校の出入り口はどのように想定しているか。	生徒は、定時制の生徒も含めすべての生徒が昇降口から出入りしています。 教職員は、それぞれの執務室（学年室、準備室）のある棟に出入り口があり、そこから出入りしています。 新校においては、教職員の執務室へのアクセス、定時制の動線等を含めた柔軟な提案をお願いします。
17	渡り廊下の移動の際の靴は上足か、下足か。	現状、渡り廊下は基本的に上足としていますが、状況により下足で移動する場合があります。
18	グラウンドに出るときはどこで上足と下足を履き替えているか。	生徒は、グラウンド用シューズを購入し、自身の下駄箱、教室のロッカーや机の脇に保管しており、グラウンドの脇で上足と履き替えています。
19	新校では1学級何人を想定しているか。	40人学級を想定しています。 現在の中野立志館高校においては、選択授業について10人以上の受講希望があれば開講しており、最大40人での授業となります。また、40人を超える受講希望がある場合には、2講座設置するといった対応をしています。新校における開講人数については今後の検討事項です。
20	職員の執務空間についてどのように考えているか。	現在の中野立志館高校は学年室に分かれ、そこに当該学年の担任と副担任が常駐しています。また、教科の準備室に常駐する教員もいます。 NSDにおいては、教職員の執務空間も空間デザインの重要な要素と考えていますので、新校においては執務空間のあり方も含めた提案をお願いします。
21	現状、地域との活動にどのようなものがあるか。また、新校でどのような想定をしているか。	現在は中野市や大手コンビニチェーン、地元企業等と連携し、空き家のリノベーション、地域特産物を使用した商品開発、コーヒーのフェアトレード等を行っています。新校では、実施要領別冊37頁の構想図にあるような地域共学共創コンソーシアムをつくることを想定しており、具体的な連携について検討中です。
22	屋上やベランダを設計した場合、生徒が活用してよいか。	実施要領別冊（資料5）の1日の生活のイメージの記載のとおり、生徒の活用も想定しています。提案いただく場合は安全配慮に留意ください。
23	延床面積の上限の根拠は何か。	全県の高等学校の規模等のバランス、学科特性、既存の床面積等を考慮して必要な延床面積を積算しています。
24	音楽棟を除却した場合に、延床面積の増を認めない背景は何か。	音楽棟は、築年数等の基準から新校において原則活用していく建物です。ただし、施設配置の提案の幅を広げるために除却のみ認めたものです。

25	定時制の教員が全日制の授業を行うことがあるか。	基本的に定時制の教員は専任ですが、まれに全日制の授業も受け持つことがあります。
26	定時制の職員室はどこにあるのか。	現在は定時制棟1階にあります。
27	別途現地を見たい場合は対応してもらえるか。	学校運営上支障が生じますので、不可とします。
28	校地内の高低差のレベルがわかる資料、階段の入った資料が欲しい。	プロポーザル実施要領（別冊）付属資料「資料2」を修正しました。
29	部屋名の資料がつぶれているので見えるものが欲しい。	プロポーザル実施要領（別冊）付属資料「資料7」を修正しました。
30	残置する建物の図面を提供してほしい。	追って掲載します。